

13期生総代 杉山 章さんにお話を伺いました。

取材記事 / 青樹 宏一、山本 壘

— RBS 入学の経緯をお聞かせください —

20代後半から国際ビジネスをする上でMBAを取得したいと思っていました。会社派遣の海外MBAを希望していましたが、途中で留学制度も無くなり、社会人として通学する時間ありませんでした。50歳直前で現在の職場に転職し、ワーク・ライフ・バランスが取れた職場であったため通学を考え始めました。当時、立教でインテンシブコースがあり、夏季に受講したところ内容に大変満足したこともありRBS入学を決断しました。

— RBSに入学して良かった点、辛かった点は何ですか？ —

勉強する感覚が楽しかったです。授業に出て、課題を与えられてというプロセスが通常の仕事とは全く異なりますし、学ぶことを私の年齢でもう一度やり直すこと自体が楽しいと感じました。また、多彩な人材との繋がりができたことも大きいです。

修士論文を書き上げることには時間と労力を費やしました。仕事はゴールが明確に設定されていますが、自らゴールを設定して自分が納得するまで論文を書くという作業の中で、楽しさの裏側にある学問の奥深さに直面しました。また、時間のやりくりも大変でしたが、嫌で辞めたいと思ったことは一度もありませんでした。

— 在学中、特に意識したことは何ですか？ —

自分だけで勉強することはやめようと思っていました。自分のことだけを考え、一人だけで勉強して完結してしまうと、通信教育と変わりません。もともと人付き合いが好きなので、年齢、性別関係なく同級生やRBSの様々な方々との繋がりが有難く、とても大切にしました。

— 杉山さんにとって学びとは？ —

一言でいうと「知的探求心」でしょうか。それはチャレンジであり自分がまだまだ成長できる可能性を感じさせてくれるものです。

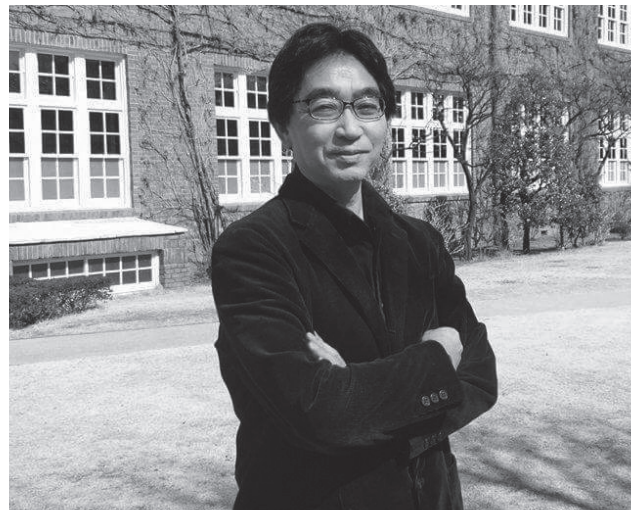
単に新しい知識を得るだけではなく、先人の研究に触れることで研究者の凄さに気づかされ、自分の小ささが良く分かりました。

また学びとは虫眼鏡でもあり、望遠鏡でもあると思います。虫眼鏡は近くにあるものをより細かく、望遠鏡は遠くでなんとなく見えているものを、ズームをかけることで実態がよく理解できます。海外の文献を読むことも望遠鏡の一つです。RBS在学生の皆様も海外の文献の原著を最初の数ページだけでも読むことをお勧めします。

— RBSではどのような研究課題に取り組まれましたか？ —

修士論文ではグローバル企業における組織の変化と従業員の意識の変化について研究しました。

素晴らしい経営者がいても、従業員が生き活きと働くことができないと企業の成果に繋がらないという想いで、実証研究に取り組みました。



PROFILE 杉山 章さん

RBS13期生(総代)。約30年に渡り、日産自動車(株)で新車開発、EVプロジェクト担当等を歴任。現在はVolvoグループUDトラックス(株)にて先行技術開発マネジメントに従事。RBS在学中はBizCom編集長を務める。現在、立教大学大学院経営学研究科博士後期課程在学中。

— 現在、経営学研究科博士後期課程に在籍されていますが、今取り組んでいる研究課題についてお聞かせください —

修論の実証では一つの企業を分析しましたが、それを発展させ複数企業に対象を拡げた調査比較を行っています。また組織同士がどうやって成果を出せるか、組織間ネットワークについても研究しています。

— 今後の目標をお聞かせ下さい —

まずは3年で博士後期課程を終え、学位を取得することです。また将来は、人に学ぶことの楽しさを教える立場になれればと考えています。

— 在学生に向けてメッセージをお願いします —

RBSは働きながら学ぼうとする人に素晴らしい環境で、それを最大限に活かすべきです。ただ環境に甘えること無く、疑問に思ったことは納得するまで突き詰め、自分にとってハイレベルなものにしてアウトプットできるようにして下さい。RBSには自分の問いに答えてくれるたくさんの優秀な先生方がいらっしゃいます。疑問点はどんどん問いかけをしてください。RBSの中は会社と違い、何度もミスやエラーが許される場です。在学中に沢山恥をかいて、修了後はプロフェッショナルとして活躍できるような実力を身に付けて欲しいと思います。大学院の2年間はあっという間です。自分自身の高みを目指して頑張ってください。

BizCom Vol.54

編集後記

Editor's postscript

皆様のご協力に感謝します。今後ともよろしくお願ひいたします。

(周 嘉柔)

限りある時間と少ない人数でしたが、皆で協力しあって無事発行出来て良かったです。

(富岡 哲也)

あっという間に1年が経ってしまいました。残された時間が有意義になるように頑張りたいと思います!

(福澤 雄太)

15期生のみで制作した今号。多くの方々に支えられながら作られていることを改めて感じました。感謝です。

(青樹 宏一)

退任される先生方から一言いただくページを担当しました。心にしみるメッセージ、ありがとうございます。

(山本 寿子)

希望にあふれる輝かしい春を迎え、RBSの皆様と一緒に活躍したいと思います。

(向 格)

皆様のご協力に感謝し、先輩から受け継いだBizComのバトンを次の世代に繋いでいきたいです。

(山本 壘)